



温度管理に気を配りながら、初めての仕込み作業

**新たに2法人がどぶろく免許取得
自家製の味でおもてなし(鳴子温泉)**

平成16年に構造改革特別区域「鳴子温泉郷ツーリズム特区」として内閣府の認定を受けた鳴子温泉地域では、稲作農家等の要件を満たし、酒類製造免許を取得すれば、「どぶろく」を製造することができます。

すでに、農家レストラン「土風里」が免許を受けて提供しており、昨年12月、新たに旅館ゆさ(川渡)と国民宿舎鬼首ロッジ(鬼首)にも、古川税務署から免許が交付され、製造と提供ができるようになりました。12月中に仕込みが終わり、1月から味わえるようになるそうです。



夜の繁華街に、拍子木の音が響き渡る

**「安心・安全まちづくり合同キャンペーン」出動式
拍子木の音にピリッと緊張感(古川)**

12月15日、年末年始特別警戒「安心・安全まちづくり合同キャンペーン」の出動式が、リオ・ネ・ふるかわで行われ、防犯・交通安全関係団体などの皆さんが、繁華街を中心に、年末・年始の防犯や交通安全を呼び掛けました。

この日は、古川リサイクルデザイン工房友の会から梨の木の廃材を再利用した「拍子木」が市に贈呈され、防犯実働隊古川分隊が、さっそく拍子木を打ち鳴らしながら巡回しました。よく響く拍子木の音は、聞かずにピリッとした緊張感をもたらし、防犯意識向上への効果も期待されます。

12月15日、三本木幼稚園恒例の「もちつき大会」が行われました。一般の家庭ではなかなか行われなくなった臼と杵でつくもちつきを、子どもたち一人ひとりに体験してほしいと、おじいさんやおばあさん、お父さんの協力を得て、園児全員が杵を手に一生懸命もちをつきました。

杵を一振りするたびに子どもたちの元気な「ワッショイ、ワッショイ」の音が園内に響き渡り、つきあがったもちはお母さんたちにお雑煮とあんこもちにしてもらいました。自分たちでついたもちの味は格別だったようです。

**三本木幼稚園「もちつき大会」
ワッショイの掛け声高らかに(三本木)**



昔はこうやってもちをついていたんだよ

12月10日、鎌田記念ホールを会場に、「第3回菱取り唄全国大会」が行われました。菱取り唄は、干拓前の品井沼に自生していたヒシの収穫の際に歌われてきた民謡です。

この日は、県内の民謡愛好家を中心に、遠くは岡山県や埼玉県からの参加もあり、熟年の部46人、一般の部73人の合計119人が参加して、日ごろから鍛えた自慢ののどを競い合いました。また、ヒシの復元と特産化に向け、栽培、研究を行っている「品井沼ひしを育てる会」がヒシの混ぜご飯を振る舞い、鹿島台のヒシを大いにPRしました。

**第3回菱取り唄全国大会
歌い継いでいきたい郷土の心(鹿島台)**



日頃から鍛えた自慢の歌声が会場に響く



みんなで一緒に食べるというそう美味しいね

**田尻福寿会 冬至かぼちゃ祭り
元気に冬を乗り越えよう(田尻)**

12月22日の「冬至」にちなんで、12月15日、田尻地区の老人クラブ「福寿会」が主催する「冬至かぼちゃ祭り」が、田尻農村環境センターを会場に開催されました。

田尻地域婦人会の皆さんが作った、かぼちゃと小豆が入った「冬至かぼちゃがゆ」とん汁が用意され、福寿会会員や来賓、田尻幼稚園児など約200人が、この冬を健康に過ごせるようお願いしながら、温かな一杯に舌鼓を打ちました。また、福寿会の皆さんのダンスや婦人会のコーラス、子どもたちのお遊戯も披露され、会場を華やかにしました。



明るい年を迎えられるように願いを込めて

**上野目地区 しめ飾りづくり教室
良い年を迎えられますように(岩出山)**

12月15日、上野目地区館を会場に、お正月に玄関などへ飾るための「しめ飾りづくり教室」が行われ、地区から15人が参加しました。

地元のしめ飾りづくり名人千葉久さんがこの日のために準備した、杭掛けし自然乾燥させたモチワラを使い、縄は福が入ってくるように左向き(自分側に引くように)に縛うなどの指導を受けながら、みかんや扇などを飾り付け、全部で50本作りしました。出来上がったしめ飾りは、地区の70歳以上の一人暮らしの皆さんにも贈呈されました。



懐かしさと思い出に溢れる校舎とも、もうすぐお別れ



これから子どもたちによって命を吹き込まれる新校舎

**松山小学校校舎及び新校舎見学会
懐かしさと感謝、新たな期待(松山)**

松山小学校校舎の老朽化に伴い、平成15年から進められてきた新校舎本体の建設工事がほぼ終了し、3学期から新校舎での学校生活が始まります。現在の校舎は3月までに取り壊されることから、地域の拠点として親しまれてきた現校舎に思いを寄せつつ、新校舎を地域住民の皆さんにご披露する見学会が12月16・17日の2日間にわたって行われ、約650人が訪れました。

現在の校舎を見学した皆さんは、懐かしい学校の匂いや窓からの景色、教室に並ぶ机やイスの小ささ、卒業制作などを、在校時やPTAとして活動していたころのよき思い出を思い起こしていました。

新校舎は、花と歴史が香るまちをイメージし、屋根には瓦が使われ、コスモスを模した風力発電の風車もモニュメントとして設置されています。木をふんだんに使った温かみを感じられる校舎内は天井が高く、明るい印象を与え、教室には廊下と教室を隔てる壁がなく、各学年2クラスがひとつのユニットとして、スペースを広く共有することもできるようになっています。

訪れた人たちは現校舎への懐かしさと感謝の気持ち、新校舎への新たな期待を寄せているようでした。